# 徳山下松港徳山地区航路（−14m）浚渫（その２）浚渫及び揚土作業のお知らせ

次の通り、徳山下松港徳山地区航路（−14m）浚渫（その2）工事を実施しますので、付近を航行される船舶は、十分注意して航行してください。

## 1. 連絡先

発注者　：　国土交通省中国地方整備局　宇部港湾・空港整備事務所
徳山下松港出張所　TEL　0834-31-0409
施工業者　：　東洋建設株式会社　徳山作業所
工事責任者　：　足立　卓也　TEL　080-5898-8993

## 2. 工事実施及び時間

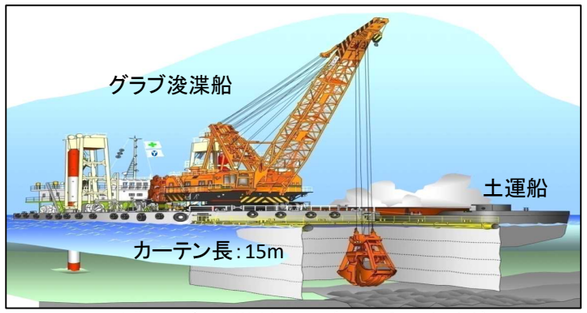
工　　期　：　令和７年　７月１４日　～　令和８年　１月９日
実　施　期　間　：　令和7年　８月中旬　～　令和7年　１０月上旬
（予備日を含む）
作　業　時　間　：　日出から日没まで

## 3. 作業区域

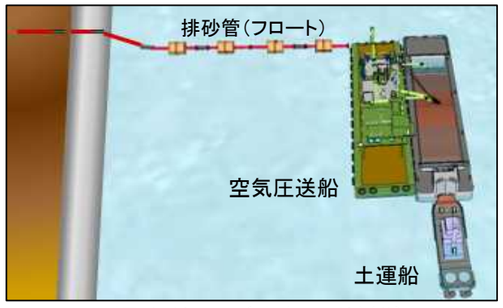
作業区域：徳山西航路（図-1参照）　揚土区域：新南陽地区（図-1参照）

## 4. 作業方法

上記作業区域において、グラブ式浚渫船(スパット付)により、浚渫作業を行い、密閉式土運船に積込み、押船により揚土施工箇所まで運搬し、空気圧送船により揚土を行います。



グラブ浚渫状況（スパット付）



揚土状況（空気圧送船）

## 5. 安全対策

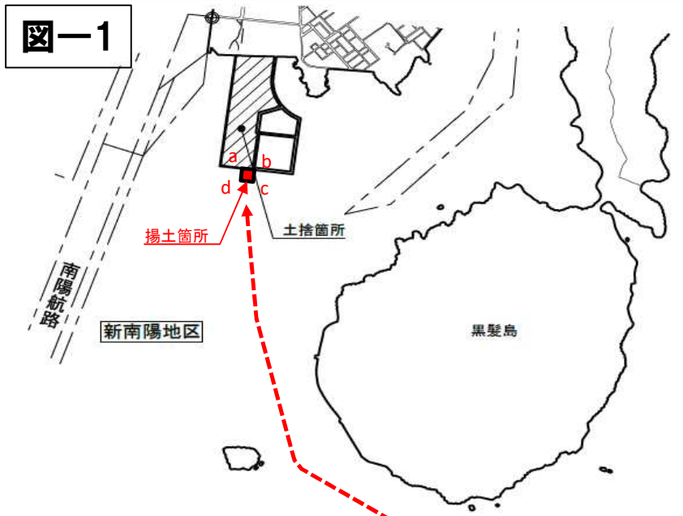
(1) 浚渫作業中は、警戒船2隻を作業区域に配置するとともに、沖合に国際VHF無線を装備した警戒船を1隻配置します。(図-2参照)
警戒船には、警戒旗・横断幕・回転灯(青色)を配置します。（図-3参照）
揚土作業中は、警戒船を1隻配置します。（図-4）
夜間においては、揚土船の周囲に標識灯及び緩衝材を設置します。（図-4参照）

(2) グラブ浚渫船・押船には、吹き流し・標識版を設置します。
大型船航路航行時は、当該船舶の1L以上が確保できる場所に退避します。
全長が航路幅より小さい船舶に対しては、警戒船を適切に運用し、一般船舶の航行に支障がないよう対応します。

(3) 作業中止基準は下図の通りとします。

| | |
|---|---|
| 風　速 | 10m/sec以上（10分間平均風速） |
| 波　高 | 1.0m以上（有義波高） |
| 視　程 | 1,000m以下 |

**図−1**



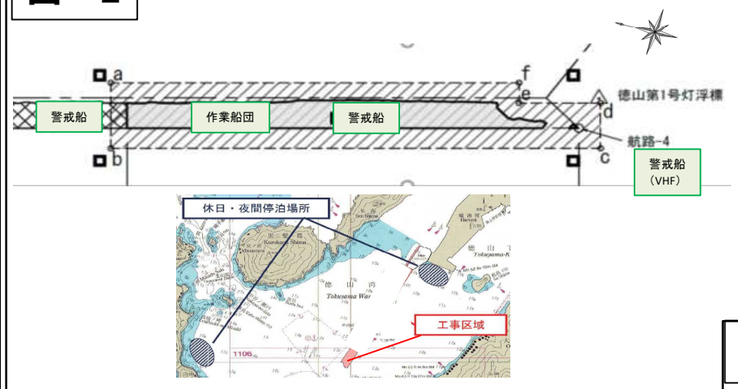

**作業区域座標（浚渫作業）**

| 作業区域 | 緯度 | 経度 |
|---|---|---|
| ① | 34° 00′ 22″ | 133° 45′ 41″ |
| ② | 34° 00′ 24″ | 133° 45′ 37″ |
| ③ | 33° 59′ 59″ | 133° 45′ 19″ |
| ④ | 33° 59′ 58″ | 133° 45′ 22″ |
| ⑤ | 34° 00′ 02″ | 133° 45′ 25″ |
| ⑥ | 34° 00′ 01″ | 133° 45′ 27″ |

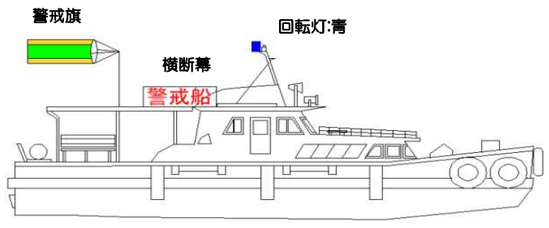
**作業区域座標（揚土作業）**

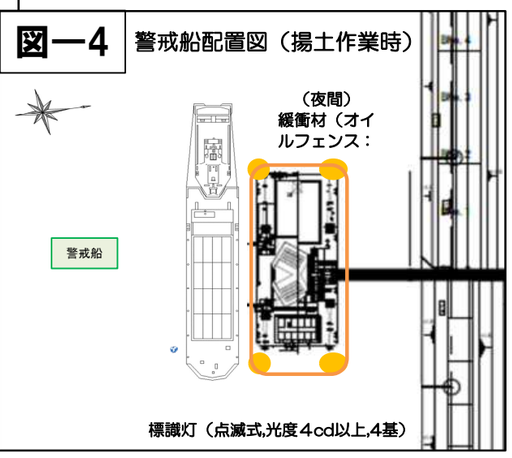
| 作業区域 | 緯度 | 経度 |
|---|---|---|
| a | 34° 02′ 55″ | 131° 44′ 01″ |
| b | 34° 02′ 51″ | 131° 44′ 06″ |
| c | 34° 02′ 49″ | 131° 44′ 02″ |
| d | 34° 02′ 54″ | 131° 43′ 58″ |

**図−2**　警戒船配置図（浚渫作業時）




**図−3**　警戒船の標識




**図−4**　警戒船配置図（揚土作業時）